



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

華やかに勢ぞろいしました 古民家のお雛様

雛祭りを間近に控えて、古民家では座敷いっぱいにお雛様が飾られ、室内は華やかな雰囲気にあふれています。中には江戸末期の嘉永年間（1848年～1855年）から代々引き継がれてきたものがあつたり、時代によって男雛と女雛の並べ方や人形の表情の違いなどもあり、いつまで見ても見飽きません。

お雛様を飾って子の健康と幸せを祈る親心が変わりはないものの、子どもが大きくなって今は押入れにしまったままという家庭も多いのでは。

古民家の雛飾りを眺めつつ、我が子の成長の足跡をたどってみるのもまた楽しいことではないでしょうか。雛飾りは、3月14日までご覧いただけます。



ふじやまの雛飾り鑑賞が楽しくなる“3つのポイント”

男雛が、左側（向かって右）に飾られているものがありますが、これは飾り間違いではなく、古くは左が尊いとされていたことが理由。関東地方では、昭和期からのものは西欧風に右側が主流になりました。

お雛様といえば正絹にしようか手入れの簡単な化繊にしようかと悩まれた方も多いはず。よくよく目を凝らしてみると和紙製のものも。時代背景によってことなことがうかがわれます。

三人官女の真ん中の女官の顔に、お歯黒や眉があつたりなかったり。これらは既婚、未婚の違いですが、宮中の女官は結婚を許されていないのでおかしいという説も。雛人形を前に侃々諤々。真相解明も楽しみの一つです。



いよいよ受験シーズン真っ只中。この時期に不思議な人気を博しているのが公園の長屋門脇に黒い枯葉をつけた一見異様な感じのカシワの樹。カシワのように枯葉が落ちないで枝に付いているのは、酵素の分泌が少ないためといわれているが、とにかく春に新しい葉が出るまでは落ちないでいるのだ。受験シーズン、落ちない…とくればもうお分かり。試験に落ちないお守り代わりに重宝されている。春になれば新しい葉が出てくるので、丸裸にしても大丈夫、お守りに使おう。



◆ たくさんの落ち葉を集めました～初めての腐葉土作り



1月16日(土)は1月とは思えない10度を超えた暖かい日でした。土作りの三要素とは植物性、生産性、化学性と何やら難しい話から始まり、腐葉土の必要性や作り方などを軽くレクチャー。この日の応募者18名、スタッフも含めて30名以上、怪我のない様にみんなでラジオ体操からスタートです。お孫さん連れのおじいちゃん、愛犬と一緒にの方など大きな箒や熊手を

操りたくさんの落ち葉を集め、2ヶ所ある囲いマスは1時間半ほどで満杯になりました。ほんのり汗をかいた後のお茶タイムでは野菜やお花の話で弾みました。

皆で集めた落ち葉は農芸部会員の手によって腐葉土となり、秋頃にお届けする予定です。どうぞ、お楽しみに～

◆ 古民家で消火訓練が行われました

古民家エリアで文化財防火デーの1月26日(火)午前、消火訓練が行われました。主屋土間付近の火災報知機の発報で開始し、ボランティアの通報、来園者の退避誘導、初期消火の後、消防署員による救出、放水が行われました。最後に署長から日頃の予防活動の重要性についてお話しがありました。



《けやき広場のケヤキを植替えます》



けやき広場は来園者の食事場所や幼稚園児の遠足時の遊び場として親しまれていますが、そのシンボルであるケヤキを植替えることにしました。ケヤキの根元部分が腐食しかかったためです。1月末に枝を切落とし、3月中に根元から切倒す予定です。代わりの若木は秋の頃には植えられるとのことです。ちょっと寂しくなりますが、広場そのものは今までと同じように使えます。

また、広場の西側の鍛冶ヶ谷口側園路の法面も土留めの部材を更新する補強工事を行いました。



《炭焼き広場の竹垣が新しくなります！》



開園13年を迎え、公園の各所でリニューアルが行われていますが、炭焼き広場の竹垣もその一つ。市環境創造局の指導を受けて竹林の真竹と孟宗竹を使って全面改修することになりました。その材料調達と間伐をあわせて、竹の伐採が2月4日(木)に行われました。約30名のボランティア会員と南部公園緑地事務所の職員が力を合わせて300本以上の竹を切り、炭焼き広場まで運びました。竹は乾燥させた後、新しいフェンスになります。

ふじやまだ公園の植物

シュロ

ヤシ科

別名をワジュロ。日本、中国南部に分布する。関東地方では野生化したものも多く見られる。枝はなく幹がまっすぐ伸び、頂点で扇状に深く裂けた葉を伸ばす。幹は繊維状の毛で覆われ5～6月頃、雌株にクリーム色の花を粒状に咲かせる。成長も遅く手間もかからないことから庭園樹木として植栽される。幹に生えた繊維質の毛はシュロ縄やタワシなどの原料となり、葉は乾燥して帽子や敷物に利用される。公園散策路の至るところで見かける。



《小学校1年生が糸車と木こい道具を見学》



新年になった1月12日(火)本郷小学校の1年生と先生114名が公園へやってきました。教科書には山奥に住む木こりと糸車を回して糸をつむいで暮らしている夫婦と、いたずらタヌキのお礼の話が載っています。1年生は糸車や木こりの道具はどんな物なのか実物の見学に来ました。糸車以外にも囲炉裏やかまど、板の間、長屋門の戸締りの仕掛けなど興味深く説明を聞いていました。

《中学生が炭焼きで職場体験を》

職場体験学習とは生徒が直接働く人と接し、実地的な知識や技術・技能に触れ、学ぶことの意義や働くことの意義を理解するための学習です。今年も1月14日(木)、西本郷中学から5名が炭焼きを体験しました。里山部会員の指導のもと竹の伐採、運搬、炭材にするための四つ割りなどを経験しました。初めての作業ですが、皆さん進んで取組んでいました。寒い日でしたがひと汗かいたのではないのでしょうか。



平成28年3月度ボランティア活動

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	14日(月)	古文書解説勉強会	6日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	9日(水)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
工作棟部会 部会	9日(水)	広報部会	
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	5日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	13日(日)
		ホームページ制作打合せ	27日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	3月20日(日) 10時～11時 〃 13時～14時	竹トンボを作って飛ばそう (小学生)	無料	当日先着順 各10名
木版画教室 (全4回)	4月 2日(土) 13時～16時 5月 7日(土) 〃 6月 4日(土) 〃 7月 2日(土) 〃	題材自由 (版木と彫刻刀はこちらで準備します)	300円 (版木代)	3月25日(金) 12名
植物画教室 (全4回)	4月 4日(月) 13時～16時 5月 2日(月) 〃 6月 6日(月) 〃 7月 4日(月) 〃	植物の細密描写	無料	3月25日(金) 12名
押し花	4月12日(火) 13時30分～ 15時30分	春の花のデザイン押し花絵	2,000円	3月31日(木) 6名
創作人形 (全3回)	4月14日(木) 13時～16時 5月12日(木) 〃 6月16日(木) 〃	[粘土と和布で作る猫シリーズ・I] 粘土でジャレ猫を作り着物でアレンジ(大人)	1,600円	3月31日(木) 6名
子ども工作	4月17日(日) 10時～11時 〃 13時～14時	ペットボトルで万華鏡作り (小学生)	無料	当日先着順 各10名
七宝焼	4月19日(火) 13時～15時	銅線を使った七宝のブローチ	500円	4月11日(月) 6名
フラワー アレンジメント	4月26日(火) 13時30分～ 15時30分	母の日のプレゼントにも最適な春色アレンジ(中学生以上)	2,000円	4月13日(水) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ お花見の会(予告) 例年のようにお花見の会を開催します

日 時：4月3日(日) 10時～13時 雨天中止

場 所：古民家前庭

内 容：模擬店、郷土芸能、ゲームなど

★ 竹林整備(筍掘り) (予告)

日 時：4月17日(日) 9時30分～13時 雨天中止

場 所：公園内の竹林 炭焼き広場

内 容：竹林の整備 筍掘り



★ 1月ふじやま公園来園者数 1月度来園者数 1,824名 27年度累計 18,899名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(3月2日)
- ・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時(3月1日・15日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593